

「金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナー」を開催

2013年11月29日

11月29日（金）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、金沢大学医薬保健学総合研究科 特任准教授 飯田宗穂先生を迎え、「腸内細菌叢は癌微小環境と治療反応性を変化させる」と題して、金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナーを開催しました。

セミナーでは、飯田博士がScienceに発表した論文の内容を中心に、腸内細菌叢の抗腫瘍免疫反応のみならず抗がん剤の治療効果への影響について、講演して頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われ、とても有意義な講演会でした。



講演者:

飯田 宗穂 博士 (金沢大学・医薬保健学総合
研究科・特任准教授)

演題名:

腸内細菌叢は癌微小環境と治療反応性を変化させる

日時:

平成25年11月29日(金) 17:00～18:00

場所:

金沢大学・がん進展制御研究所・4階会議室

飯田博士は本学医学部を卒業し、旧第1内科に入局後、分子生体応答研究分野での研究で学位を取得されました。2009年から国際ナショナルトレーニングプログラムにて、米国国立がん研究所炎症-がん研究プログラムのTrinchieri博士の研究室に留学され、2012年にまで滞在され、がんの発症・進展機構での腸内細菌叢の役割に関する研究に従事されました。Trinchieri博士の研究室で行っていた研究は、*Science*に掲載予定です。この研究を中心に、飯田博士の研究をご紹介していただく予定です。